

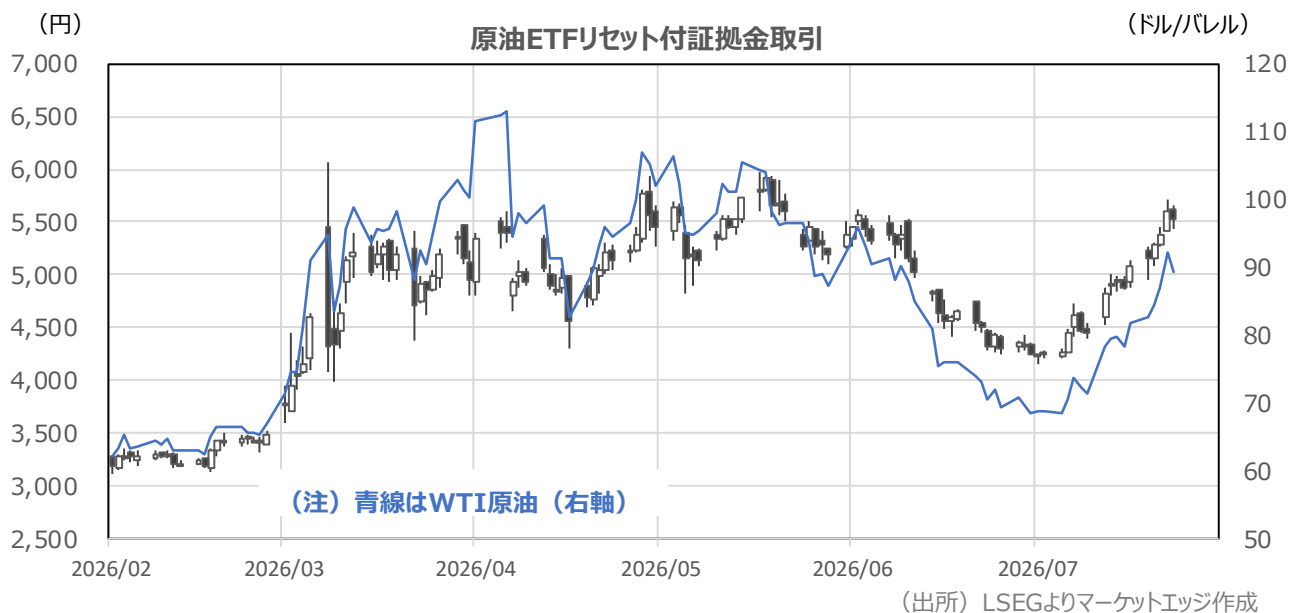
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/07/27号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



中東情勢の混乱激化で、一時90ドル台に

NY原油先物相場は、1バレル=90ドル水準まで値上がりする展開になった。7月23日には93.50ドルまで上昇し、6月11日以来の高値を更新した。中東情勢の緊迫化が、供給不安を高めている。米国とイランの間では攻撃の応酬が続いており、ホルムズ海峡の船舶通航が困難になっている。実際に、イラン軍によるホルムズ海峡を通航していたタンカーへの攻撃も報告されている。また、イエメンの武装組織フーシ派は、バブ・エル・マンデブ海峡でサウジアラビア関連船舶を攻撃対象にすると表明している。フーシ派は、サウジアラビアの石油タンカー2隻にミサイル攻撃を行ったことを発表している。

バブ・エル・マンデブ海峡は、紅海と外洋を結ぶ原油流通の要所であり、ホルムズ海峡の迂回ルートとして重要性が高まっている。しかし、ホルムズ海峡と同様に事実上の封鎖状態に陥り始めている。フーシ派から攻撃を受ける可能性が高まる中、一部タンカーはスエズ運河にルート変更を行うなど、対応を迫られている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（7月17日時点）は、原油が前週比201万バレル増、ガソリンが77万バレル増、石油精製品が140万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

供給障害が続くと一段高も、停戦合意だと急反落のリスクも

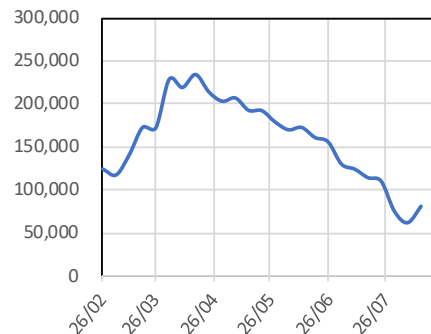
中東情勢に強く左右される地合が続く。前週に続いて供給障害のリスクが強く警戒されると、上値追いの展開が続く。すでにブレント原油は100ドルの大台に乗せているが、WTI原油も同水準に迫る可能性がある。米国とイランの間に激しい戦闘が続く、ホルムズ海峡やバブ・エル・マンデブ海峡が事実上封鎖され、イランやフーシ派による石油タンカーに対する攻撃が続くといった動きがみられると、原油相場は上値目途の設定が難しい状況になる。

すでに消費国の在庫は大きく取り崩されているが、7月以降の国際原油需給が改めて供給不足となり在庫の取り崩しが進むと、期近限月主導の上昇地合が正当化される。改めて国際エネルギー機関（IEA）加盟国による協調備蓄放出の検討が始まる可能性もある。

一方、トランプ米大統領はイランとの協議が行われていることを明らかにしているが、仲介国が米国とイランとの間で停戦合意の取りまとめに尽力していることが確認されている。米国とイランの衝突の原因は、ホルムズ海峡の封鎖解除を巡る解釈の違いによるものであり、いったんは10日程度の停戦を合意して、改めてホルムズ海峡の船舶通航ルールなどを確認する案が、米国とイランの双方に提示されている模様だ。

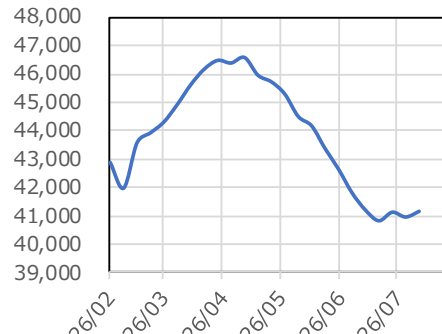
実際に停戦が合意されると、7月は安値67.04ドルから20ドル以上の急伸地合が形成されている反動もあり、80ドル水準まで急反落する可能性がある。中東情勢次第で、上下双方に10ドル程度の値幅を想定しておく必要があるため、柔軟な対応が求められる。供給障害の継続を見込んで一段高を狙うか、停戦合意を見込んで戻りを売り込むのかの選択になる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



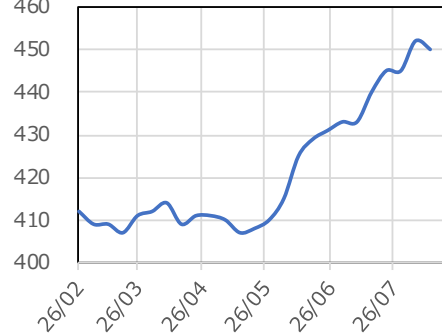
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

